

前

国

語

## 人間文化学部

生活デザイン学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

地域文化学科

(60分)

(90分)

### 注意事項

- 1、解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。  
また、解答開始の合図があるまで、筆記用具を使用してはいけません。
- 2、問題は3題で、12ページありますが、志望する学科によって解答する問題が異なるので注意ください。指定されていない問題を解答しても採点しません。
- 3、生活デザイン学科・人間関係学科・国際コミュニケーション学科を受験する者は、第1問・第2問を解答しなさい。地域文化学科を受験する者は、第1問～第3問を解答しなさい。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙に続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

- 4、解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
- 5、解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にする場合があります。
- 6、解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
- 7、試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってははいけません。

## 第1問

次の文章を読んで、後の問い(問1～4)に答えよ。





山極壽一「ゴリラの民主主義」『世界思想』第四九号、世界思想社、二〇二三年）より一部改変

問1 傍線部ア、オのカタカナを漢字に直せ。楷書ではつきりと書くこと。

問2 傍線部①「先験的不平等」と傍線部②「条件的平等」がどのようなことを表しているのか、本文中の語句を利用して、傍線部①は五〇字以内、傍線部②は八〇字以内(どちらも句読点を含む)で説明せよ。

問3 傍線部③「メスの自由な動きと群れの選択権」とあるが、それを可能にする社会とはどのような社会のことを示しているのか、本文中の単語をそのまま抜き出せ。

問4 本文の内容に合致するものを次の中からすべて選び、番号で答えよ。

- 1 類人猿の社会においては、平等で争いがないことが自然の状態であるが、人間社会においては、格差や不平等が生み出されるといえる。
- 2 人類は闘争的な部分を強い権力によって抑えているとホップズが主張するのに対して、共感力によって秩序が作られているとルソーは主張する。
- 3 飼育下のチンパンジーには、けんかという社会技法を用いることによって、群れの構成員が協力して調和と平和をもたらそうという傾向がある。
- 4 欧米の自然観や人間観はホップズの考えを支持してきたが、このことがきっかけで、戦争を頂点とする現代の大規模な暴力が生みだされている。
- 5 人類は母系的なサルの社会を継承したため、家族と共同体という二重構造を持つ社会を作ることができ、それが最大の強みとなっている。
- 6 民主主義の芽はすでにゴリラやチンパンジーの社会にも見られ、それを人類は自分たちが進化を遂げた狩猟採集社会を通じて継承してきた。

## 第2問

次の文章を読んで、後の問い(問1、2)に答えよ。







石井美保「現実と異世界——『かもしれない』領域のフィールドワーク」(松村圭一郎ほか編『文化人類学の思考法』世界思想社、二〇一九年)より一部改変

注 フィールドの人びと……人類学者の調査地(フィールド)で暮らしている人びと。

問1 傍線部①「妖術や精霊といったものの意味や機能を近代合理的な論理によって説明してしまう態度」について、以下の問いに答えよ。

- (1) この態度を最も端的に表す別の表現を本文中から五字以内で抜き出せ。
- (2) 筆者はこの態度での説明には問題があると考えているが、それはなぜか。本文中の語句を用いて、一二〇字以内(句読点を含む)で説明せよ。

問2 傍線部②「彼ら」と「私たち」の区別が少しだけゆらぐような方向」という点に関して、本文中で紹介されているグレーバーとリンハートのそれぞれの主張と、それらに基づく妖術や精霊についての筆者自身の考えを、二五〇字以内(句読点を含む)で要約せよ。

第3問 次の文章を読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。

さて判官殿海津の浦を発ち給ひて、近江と越前の境、愛発の中山へぞかかり給ふ。一昨日都を発ち給ひて、大津の浦に着き給へば、船に召して舟酔ひに御心地損なひ給ひて、歩ませ給ふきよう(きよう)もなし。

この愛発の中山と申すは、人跡すこく、古木苔むして、素直ならぬ山なれば、廠職々として、何時見馴れ給ひたる事ならば、左右の御足より流るる血はくれなるをすすぐがごとし。山伏たち余りの御いたはしさに、時々は代はる代はるぞ(負ふ・奉る・けり)。

かくて山深く分け入り給ひける程に、日も暮れければ、道より二町ばかり分け入りて、大木の陰に敷皮敷き、笈側立てて、北の御方を休め参らせける。

北の御方、「あら恐ろしの山中や、らづくと言ふぞ」と宣へば、「此処をば愛発の山中」と仰せられければ、「面白や、いにしへはあらしの山中と言ひけるぞ。今は何とて愛発の山中とは名づくらん」と宣へば、「この山は余りに難所にて、東より都へ上り、京より東へ下る者の、足を踏み損じて血を流す故に、あら血の中山と呼び替へたり」と、判官宣へば、武蔵坊、「あはれ君は跡なき御事を仰せられ候ふものかな。人の足より血を垂らし候へばとて、あら血の中山と申し候はば、日本国の難所どもみなあら血の中山にて候はんや。弁慶こそよく存じ候へ」と申しければ、「それ程知りたらば、義経に言はせずして、など言はざるぞ」と宣へば、「さらば申し候はん」とて、「この山をあら血の中山と申す事は、加賀の国白山に女体の竜宮の宮とておはしましけるが、志賀の都にて、唐崎の明神に見え初めさせ給ひて、十月を送り給ふ程に、懐妊ありて、すでにその月近くなりしかば、おなじくは王子にても姫宮にてもおはしませ、わが国にて誕生あるべしとて、彼の国へ下り給ひけるを、明神御産の近づきたるに」とて、御腰を抱き参らせたりければ、この山にてたやすく御産ありけり。その時御産のあら血こぼさせ給ひたるによりて、あら血の中山と申すなり。さてこそあらしの山中、あら血の中山の謂れ知られ候へ」と申しければ、判官「義経もかくとぞ知りたり」とて笑ひ給ひて、越前の国へ入り給ふ。

注 海津・大津・唐崎……近江国の地名。

北の御方……源義経の妻。

志賀の都……現在の滋賀県大津市に置かれた天智天皇の都。

問 1 傍線ア・イ・エ・オのひらがなを漢字に直せ。楷書ではつきりと書くこと。

問 2 傍線ウの〔 〕内の三つの語を正しく活用させて、文を完成させよ。

問 3 傍線カ「あはれ君は跡なき御事を仰せられ候ふものかな」を現代語訳せよ。

問 4 傍線キ「わが国」とはこの国か、本文中から抜き出せ。

問 5 義経と弁慶は「愛発の中山」の呼称の由来についてどのように述べているか。次の中から正しいものをそれぞれひとつ選び、番号で答えよ。

- 1 人かげもなく誰も知らない場所であったから。
- 2 竜宮の宮の出産の際に血がこぼれた場所であったから。
- 3 嵐が吹き荒れる場所であったから。
- 4 北の御方が休息をとった場所であったから。
- 5 足から血が出るような険しい場所であったから。

問 6 『義経記』は中世成立とされる作品である。次の中から中世に成立した作品をすべて選び、番号で答えよ。

- |   |      |   |       |   |      |
|---|------|---|-------|---|------|
| 1 | 閑吟集  | 2 | 土佐日記  | 3 | 風姿花伝 |
| 4 | 雨月物語 | 5 | 誹風柳多留 | 6 | 徒然草  |